## 「関東食育連携プラットフォーム~この指とまれ!~」エントリーシート(関東農政局)

## ■ 活動紹介

| 団                    | 体 | 名 | 等 | さいたまヨーロッパ野菜研究会  |       |     |                               |  |  |
|----------------------|---|---|---|---|-------|-----|-------------------------------|--|--|
| 事業内容                 |   |   | 容 | 「さいたま市内産ヨーロッパ野菜の栽培・流通・地産地消を推進する」<br>埼玉県内の生産者・種苗会社・食品卸売業者・レストラン・行政等が協力して、これまで輸入に頼っていたレストラン向けヨーロッパ野菜の栽培・流通を開始。現在は県内1000軒のレストランに年間約60種類のヨーロッパ野菜を供給している |       |     |                               |  |  |
|                      |   |   |   | 〒330-0063   |       |     |                               |  |  |
| 所                    | 在 |   | 地 | さいたま市中央区下落合5-4-3  | ホームペー | -ジ等 | https://saiyoroken.jimdo.com/ |  |  |
| 電                    | 話 | 番 | 号 | 048-851-6652  | F A   | X   | 048-851-6653                  |  |  |
| 食 育 活 動<br>(連携事例を含む) |   |   |   | 〇シェフ給食<br>毎年10校程度、市内の公立小中学校を対象に実施している。研究会メンバーのレストランシェフがイタリア料理<br>の学校給食メニューを考案、当日はシェフが実際に調理する。メニューには必ずさいたま市内産のヨーロッパ野<br>菜を使い、朝礼や昼休みにシェフと生産農家が各教室を回る  |       |     |                               |  |  |
|                      |   |   |   | 〇シェフ向け畑見学会<br>地元シェフに農業の現状を知ってもらおうと、毎年春と秋にレストラン向け畑見学会を開催。これまでに500名を<br>超える料理人が参加している。一度畑見学に来ると、継続的に地元野菜を使い続けてくれるシェフが多い                               |       |     |                               |  |  |
|                      |   |   |   | 〇さいたま市長杯 さいたまヨーロッパ野専県内の若手料理人に、もっと地元食材を知とモチベーション向上につながっている   |       |     | <b>台めた料理コンテスト。若手料理人の調理技術</b>  |  |  |
|                      |   |   |   |   |       |     |                               |  |  |

## 食育活動写真







【シェフ給食】

【シェフ向け畑見学会】

【ヨーロッパ野菜料理コンテスト】

活動の効果

学校給食では地元食材を使う認識が広がり、30年度には地元食材を使った市内一斉メニューの実施が予定されている。

県内レストラン約1000軒に、「さいたまヨーロッパ野菜」を供給

継続への課題

現在、レストラン業界・農業界ともに人手不足で、売り上げに直結しない活動にボランティアベースで協力してい ただくことが難しい

## ■ 連携を希望する取組について

| 連携を希望する業種等 |  |
|------------|--|
| 取組内容       |  |